

学校教育目標 『よりよく生きる』

南中学校 電話：982-1066

さわやか相談室 電話：981-8749

HP: <https://www.yoshikawa.ed.jp/minami-jh>

R5.7.3 現在	学級数	生徒数
1 学年	4	140
2 学年	4	147
3 学年	4	159
特別支援	5	27
合 計	17	473

「なぜ」を深く考える

吉川市立南中学校 校長 福嶋 正悟

チャットGPTに挑戦！

今、話題の生成AI、チャットGPTを使って、『関西ではうどん文化が、関東では蕎麦（そば）文化が発達したのどうしてか？』と質問しました。すると、あっという間に次のような答えが返ってきました。しかし、これはあくまでもAIが導き出した答えであり、答えのすべてではないはずです。

そこで、南中学校のふいこの皆さんに校長室からの挑戦状です。南中生の力を挙げて、チャットGPTを超える答えを考えてください。なお、この問題は難しいので、何を調べてもOKです。仲間と協力して、協力的に回答して頂いてもOKです。生成AIを超える答えを待っています！

チャットGPTが考えた答え

これは地理的な要因によるものです。関西地方は平野部が広く、穀食地帯として米の生産が盛んであり、その副産物として小麦が栽培されました。一方、関東地方は山がちで、水資源が豊富であったため、水車を使った粉挽きが発達し、そこから蕎麦文化が発達していったとされています。また、蕎麦は小麦よりも病気に強く、栽培が容易であったことも関東における蕎麦文化の発展に影響していると考えられます。さらに、歴史的な背景も関係しています。江戸時代には、関東地方の蕎麦が信州蕎麦とともに全国に広まり、行楽地や旅人の食べ物として親しまれるようになりました。一方、関西地方はうどんも庶民の食べ物として親しまれていましたが、蕎麦ほど広く全国に普及することはありませんでした。

また、食文化には地域色が強く、その地域に暮らす人々が好んで食べる食材や料理方法が形成されていきます。このため、うどん文化も関西地方で根付いていると言えます。



タブレットを使って、グーグルフォームで答えてね！もちろん、何を使ってでもOKだよ。

注意 チャットGPTには年齢制限があり、18未満の生徒は、保護者の許可が必要です。

今日7月20日（木）で令和5年度1学期が終了します。そして、明日からは生徒の皆さんが待ちに待った夏休みが始まります。長期休業における校長の願いはいつも同じです。全校生徒と全職員が事故や事件に遭うことなく、みんな健康で元気に戻って来ることです。それ以上も、それ以下もないのです。38日間の夏休みを終えて、みんなが一回り大きくなって戻ってくるのを楽しみにしています。さて、そんな夏休み直前に学校だより特別号を発行したいと思います。タイトルは、『「なぜ」を深く考える』です。以下は、私が中学生の時に本当にあった話です。

46年前、私は中学生でした。時代はもちろん昭和です。当時の中学生は、男子生徒は全員丸坊主と決まっていました。福嶋少年も、当然坊主です。そして、当時も今と変わらず、夏休みには宿題がありました。夏休みの宿題といえば、理科の自由研究です。そうです。多くの生徒が何を研究しようかと頭を抱える難敵です。しかし、中学2年生であった私には調べてみたいことがありました。それは、授業で習った学習内容に対するある疑問です。話は簡単なことです。中1の理科の時間に「光合成」を習いました。植物は太陽の光を浴びて、水と二酸化炭素から酸素とデンプンをつくるという内容です。そもそも、光合成については小学生でも学習していました。デンプンの代表はジャガイモです。ジャガイモを切って、ヨウ素液をたらすと青紫色に染まるということを知っていたのです。

しかし、私にはある疑問がありました。光合成は主に葉で行うものです。先生は、そう教えてくれました。そして、ジャガイモは地面の下にある。ここに疑問があったのです。そもそも、デンプンは水に溶けません。料理に使うことの多いジャガイモを原料とする馬鈴薯（ばれいしょ）デンプンは、ただの水では大して溶けないのです。葉でできたデンプンが茎の中を通過して、地中の根まで移動してイモとなる。しかし、デンプンは水に溶けにくいから、どうやって茎の中を移動するのか。まさに大いなる疑問だったのです。

私はある仮説を立てました。それは、夜になると植物は葉でできたデンプンを水に溶ける糖に変えて茎の中を通して行っているのではないかとという仮説です。仮説は証明しなければ意味がない。（ん？ドラマのセリフみたいですね。）46年前のことです。パソコンはおろかワープロすらない世界です。ウィキペディアやググるなんて影も形もない時代だったのです。しかし、理科の授業で糖を調べる

実験がありました。唾液のはたらきを調べる実験です。ベネジクト液、これさえ手に入れば夜間の植物の茎を調べることができるはず。これが福島少年の立てた仮説だったのです。この仮説を証明するためにベネジクト液はマストです。さて、どうしたものか？

ここから先は、中学生らしいトホホ話です。私は越谷市に住んでいたのですが、まず市内すべての薬局を回って、ベネジクト液を売っていないか聞きました。しかし、試薬は見つかりません。移動手段は、自転車だけだったので相当の時間がかかりました。冷静な中学生だったら、母校の理科の先生に分けてもらえばいいだけの話だったのです。しかし、当時の私には、その発想がなかった。自由研究よりも、ベネジクト液を探し求める旅が始まりました。

お目当ての試薬を手に入れたのは、隣の春日部市でした。突然やってきた坊主頭の中学生在がベネジクト液を欲しがっている。店主にはかなり怪訝（けげん）な顔をされました。そんなこんなで、自由研究のスタートラインに立ちました。そして、仮説を証明する実験開始です。実験結果は予想通りのものでした。夜の植物の茎を切って、それをすりつぶしてベネジクト液を入れて加熱すると、糖があるという反応があったのです。でも、そこは中学生です。昼間と比較する実験をしていなかったり、複数の植物について実験をしていなかったりと、穴だらけの自由研究です。この仮説が本当に正しいのか、かなり怪しいところです。（生徒の皆さんは、それを理解した上で読んでくださいね。）その後、理科の先生にほめられることもなく、何かのコンクールに出品されたわけもなく、その他大勢の作品の中に埋もれていった研究でした。しかし、46 年経った今でも、あの時の知的好奇心ははっきりと思い出せるのです。そして、楽しかったのです。

夏休みは、普段よりも時間的余裕があります。身の回りのできごとの「なぜ」を深く考えるチャンスがあるのです。そこで、生徒の皆さんに宿題を出します。すでに先週のうちに配られているので、知っている人も多いと思いますが、話題の生成 A I、チャット G P T に挑戦します。2022 年 11 月に出現したとされるチャット G P T ですが、かなり高度な質問に対しても、人間が深く考えたような答えを導き出します。しかし、それを鵜呑（うの）みにするのは危険です。その解答が正しいのかをきちんと吟味することが必要なのです。今回、私がした質問は、「関西ではうどん文化が、関東では蕎麦（そば）文化が発展したのはどうしてか？」といったものでした。チャット G P T が出した答えと、私の考えは違います。この問いに対する答えは、もっといっぱいあるはずなのです。そこで、皆さんに問うのです。「チャット G P T を超える答えを考えてほしい」と。

もちろん、一人で考えなくても O K です。時は夏休みです。友達や家族、誰と相談しても O K です。何を調べてもいいのです。そして、自分なりの答えにたどり着けばいいのです。だって、正解なんてないのですから。すでに 50 名を超える生徒から解答が寄せられています。その中には、なるほどと頷（うな）くものもありました。南中学校 473 名は生成 A I を超えられるのか。楽しみにしています。ちなみに、私は「富士山」が関係していると考えています。解答、待っていますよ！
追伸 用紙を無くしてしまったという人もいるかもしれません。念のため裏面に再印刷しましたので、クロームブック等で Q R コードを読み取って、解答してください。

チャットGPTに挑戦！

今、話題の生成AI、チャットGPTを使って、「**関西ではうどん文化が、関東では蕎麦（そば）文化が発展したのはどうしてか？**」と質問しました。すると、あっという間に次のような答えが返ってきました。しかし、これはあくまでもAIが導き出した答えであり、答えのすべてではないはずです。

そこで、南中学校のよいこの皆さんに**校長室からの挑戦状**です。南中生の総力を挙げて、チャットGPTを超える答えを考えてください。なお、この問題は難しいので、何を調べてもOKですし、仲間と協力して、協働的に回答していてもOKです。生成AIを超える答えを待っています！

チャットGPTが考えた答え

これは地理的な要因によるものです。関西地方は平野部が広く、穀倉地帯として米の生産が盛んであり、その副産物として小麦が栽培されました。一方、関東地方は山がちで、水資源が豊富であったため、水車を使った粉挽きが発展し、そこから蕎麦文化が発展していったとされています。また、蕎麦は小麦よりも病気に強く、栽培が容易であったことも関東における蕎麦文化の発展に影響していると考えられます。さらに、歴史的な背景も関係しています。江戸時代には、関東地方の蕎麦が信州蕎麦とともに全国に広まり、行楽地や庶民の食べ物として親しまれるようになりました。一方、関西地方ではうどんも庶民の食べ物として親しまれていましたが、蕎麦ほど広く全国に普及することはありませんでした。また、食文化には地域色が強く、その地域に暮らす人々が好んで食べる食材や料理方法が形成されていきます。このため、うどん文化も関西地方で根付いていると言えます。



タブレットを使って、**グーグルフォーム**で答えてね！もちろん、**何を使ってもOKだよ。**

注意 チャットGPTには年齢制限があり、18未満の生徒は、保護者の許可が必要です。

7月

給食だより



令和5年7月

西川市学校給食センター

暑い日が続いていますが、体調管理はしっかりとできていますか。
暑いからといって、冷たいジュースやアイスクリームばかり食べていませんか。夏はしっかりと食事をとらないと、栄養がたよって体調が悪くなれ、疲れてしまいます。夏を元気にすごせるよう、バランスのとれた食事と規則正しい生活を心がけましょう。



ポイント1 夏を元気にすごしましょう

ポイント1



まずは早起き&朝ごはん

元気にすごすためには、早起きをして朝ごはんを食べることが大切です。また、生活リズムをととのえるために毎日続けることが重要です。



ポイント2



上手に水分補給をしよう!

汗をかく夏は上手な水分補給が必要です。特に外遊びや運動の時には、途中でこまめに水分補給をしましょう。汗をたくさんかく時は、無糖質(ミネラル)を補給できるスポーツドリンクが適していますが、糖分が多いため、日常的な飲用には適していません。通常の水分補給は水や麦茶など糖分のない飲み物にしましょう。のどが乾く前に飲むことを意識しましょう。

ポイント3



おやつは時間と量を決めて!

おやつを食べ過ぎていると、3度の食事が食べられなくなったり、夏バテの原因になったりします。おやつは時間と量を決めて食べましょう。また、食べ終わった後歯を磨くのも忘れないようにしましょう。

身につけよう! 食事のマナー



食べた後の片付けをきちんとすることもマナーです。「最後のひとまじり」を考えましょう。

◆ごに返す食器に食べ残しがたくさんついていませんか?

給食当番の人が運ぶときに、こぼれた汁で服や顔を汚してしまうこともあります。また流すに使用する水の汚れがひどくなり、排水溝の掃除がかわります。

◆パンやめんの袋などをコンパクトに片付けられていますか?

大きなゴミ袋が必要になったり、かさが増えたゴミ袋の片付けは大変です。クラスで、まとめた袋の量を減らすだけでもいいですよ。

◆ご飯缶にお水1杯程度の水を入れていますか?

尿を入れずに、ご飯が腐って臭いにくく、尿の臭いが教室になってしまいます。

「2人1組」「各クラス」「学級」で、必ず片づけることをつけていくと、関わるすべての人や環境にもやさしいマナーになります。

さあ、もうすぐ夏休みだ!



チャレンジ!!

夏休みにおすすめの2大イベント

令和5年度 学校給食献立コンテスト
～吉川産を使ってもっとおいしく～

おでかけしませんか?

学校給食フェスタinよしかわ

※申し込み制のため、既に締切になっている場合もあります。
◆どちらのイベントも詳しい内容は学校から配布されたチラシをご覧ください。

8月1日(水)